

建設産業委員会会議録（要点筆記）

令和6年2月2日（金）
午前10時00分 開会
場所 委員会室

○芳金秀展委員長

ただいまから建設産業委員会を開会します。

本日の委員会は、講師を招いての勉強会ということで、JAあいち知多 半田事業部 事業部長の粕山益己様に講師をご依頼しており、テーマは「知多半島における産直市場の現状や課題について」です。

粕山様には、事前調整の段階で質問事項をお渡ししておりますが、質問事項の内容を踏まえて、ざっくばらんなやり取りがしたいと思いますので、休憩にして進めていきます。

午前10時02分 休憩

【休憩中の主なやり取り】

・半田市という地域の評価

酪農についてはトップクラスで、大きな事業所もある。耕種よりも畜産家農業が中心のまちという印象。

・JAあいち知多の取り組み

目的は「魅力ある産地づくり」。

農業商材の増大、品物の安定供給、付加価値の創造を行っている。

・産直市場の例

大府市「げんきの郷」

年間、200万人以上の集客がある。産直市場のほかにも、鮮魚の販売や温泉も経営している。産直では、出品している農家には常に新しいものを補填してもらうことと、残った商品の引き上げもしてもらっており、品質管理に力を入れることでブランド化を図っている。

・半田市で産直を実施する場合の課題

最大の課題は、商品の安定供給。また、健全な収支を確保することと会員確保が両輪となる。棚が埋まらなければ集客も働く人員も確保できなくなってしまうので、産直市場を作るにあたっては、「どこに」、「どの程度の規模で」、「どのような集客」を図るのか、ビジョンとデータ収集が必要となる。産直で収益を上げて行くことは容易ではないので、十分な戦略が必要。

午前10時59分 再開

○芳金秀展委員長

委員会を再開します。

粕山様、ありがとうございました。大変有意義な意見交換ができたかと思います。

なお、閉会の予定時間となりましたので、このまま閉会とさせていただきたいと思います。

当委員会では、「6次産業化の拠点整備について」を委員会の調査事項としており、今後、執行部への提言を作成しますので、本日伺った内容も取り入れて取りまとめを行っていきたいと思います。本日は、誠にありがとうございました。

午前11時01分 閉会